



建物の概要

建物種類	延床面積	家族構成	工 法
戸 建	平屋:110.54㎡ 坪数:33.43坪	3人(夫20代・妻20代・息子1歳)	木造在来工法

地域材利活用について

内装材:兵庫県産材 杉1.90㎡・桧0.95㎡ / 外装材:兵庫県産材 杉2.26㎡ / 構造材:地域材 桧5.83㎡・杉9.70㎡

敷地条件・要望

計画地は兵庫県姫路市の北西に位置する姫路駅から車で約30分に位置する中山間地域にあり、自然環境や農村環境が豊かである。周囲を山に囲われ、農業を営む民家が建ち並ぶ場所にある。施主は、20代の夫婦で、この地域で農業を営む祖父の水田を一部譲り受けて宅地に農地転用し、家建てることになった。お施主様の要望としては、「周囲の景観になじむ和モダンの雰囲気大切にしつつ、プライベートとパブリックが明確に分離された廊下のある平屋を建てたい」というものでした。



建設地

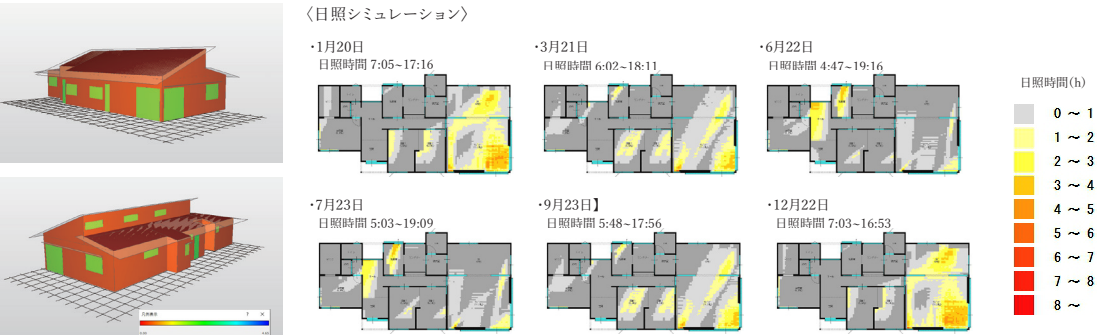
設計で考えたこと

自然豊かな周辺の環境に馴染み、若い夫婦が住み続ける家になるように、素材による質感を大切にしつつ、軒の深い片流れと寄棟を併せたモダンな外観としました。廊下のある平屋においても、玄関や廊下が閉鎖的にならないよう、また家族のリビングや個室に向かうための機能だけでなく暮らしの豊かさを演出するために、玄関には北側の深山と田畑につながる坪庭を設け、廊下には高窓を設けることで柔らかな光と冬の日射を取得できる計画とし、家族のものが経っ理を飾り紡いでいける本棚を設けました。LDKは南側に計画し、里山風景を美しく切り取り、陽だまりとなる大開口のコーナー窓としました。リビングは高窓のある勾配天井とし、家族や来客が美しい光の中で集える空間としました。家事動線にも配慮し、キッチンから家事スペースを回遊動線としました。家の周りに植栽を計画し、木に包まれ町と繋がる縁側デッキを設けることで、里山に包まれるような家としました。

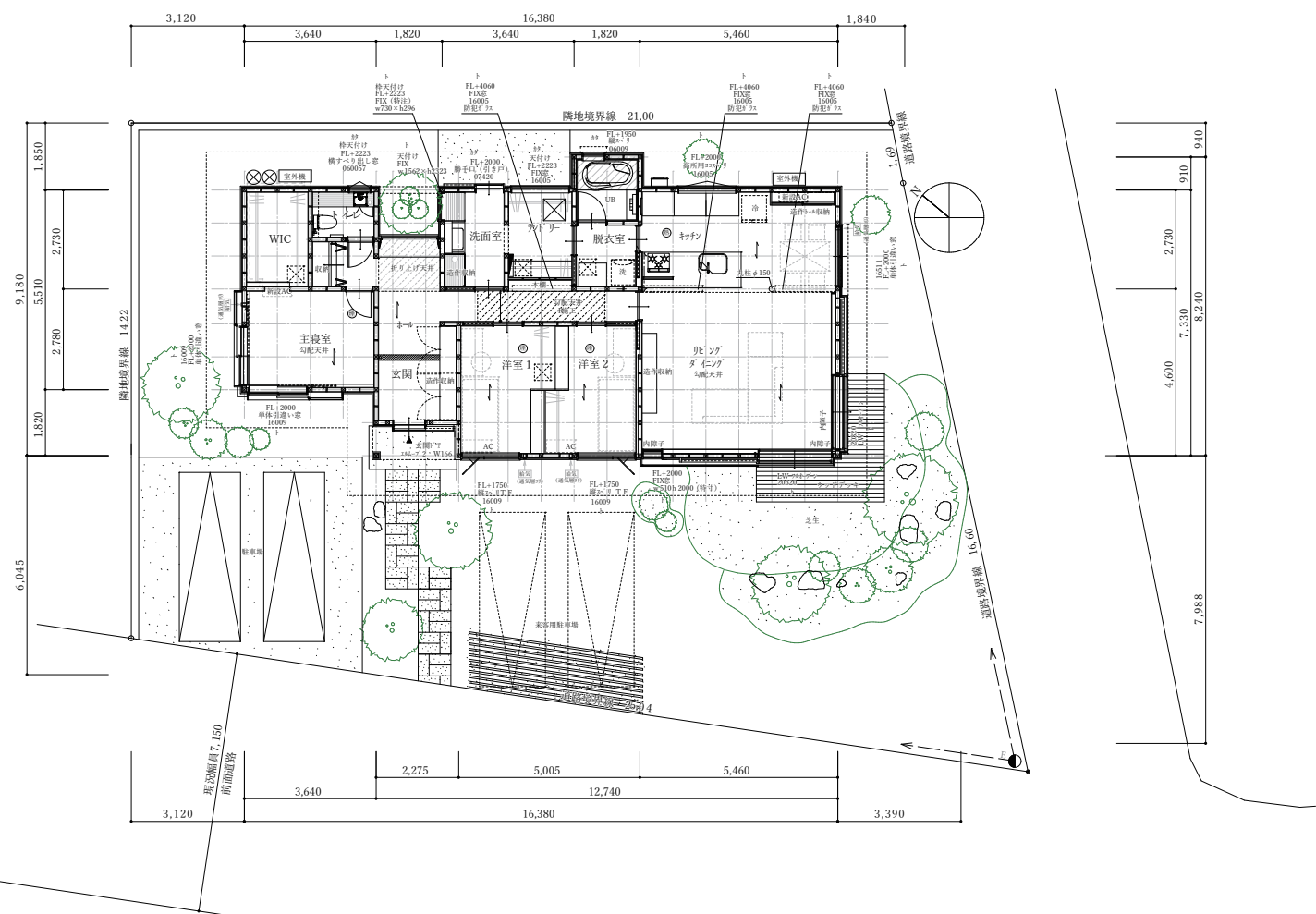


住宅性能について

認定長期優良住宅	UA値(外皮平均熱還流率) 0.44W/㎡k
耐 震 等 級 3	ηAC値(平均日射取得率・冷房期) 1.8%
耐 風 等 級 2	ηAC値(平均日射取得率・暖房期) 1.4%
省 令 準 耐 火	C値(相当すき間面積) 0.8cm²/㎡
	R値(年間一次エネルギー消費削減率) 再生可能エネルギーを含む22%



里山と兵庫県産木材に包まれる平屋

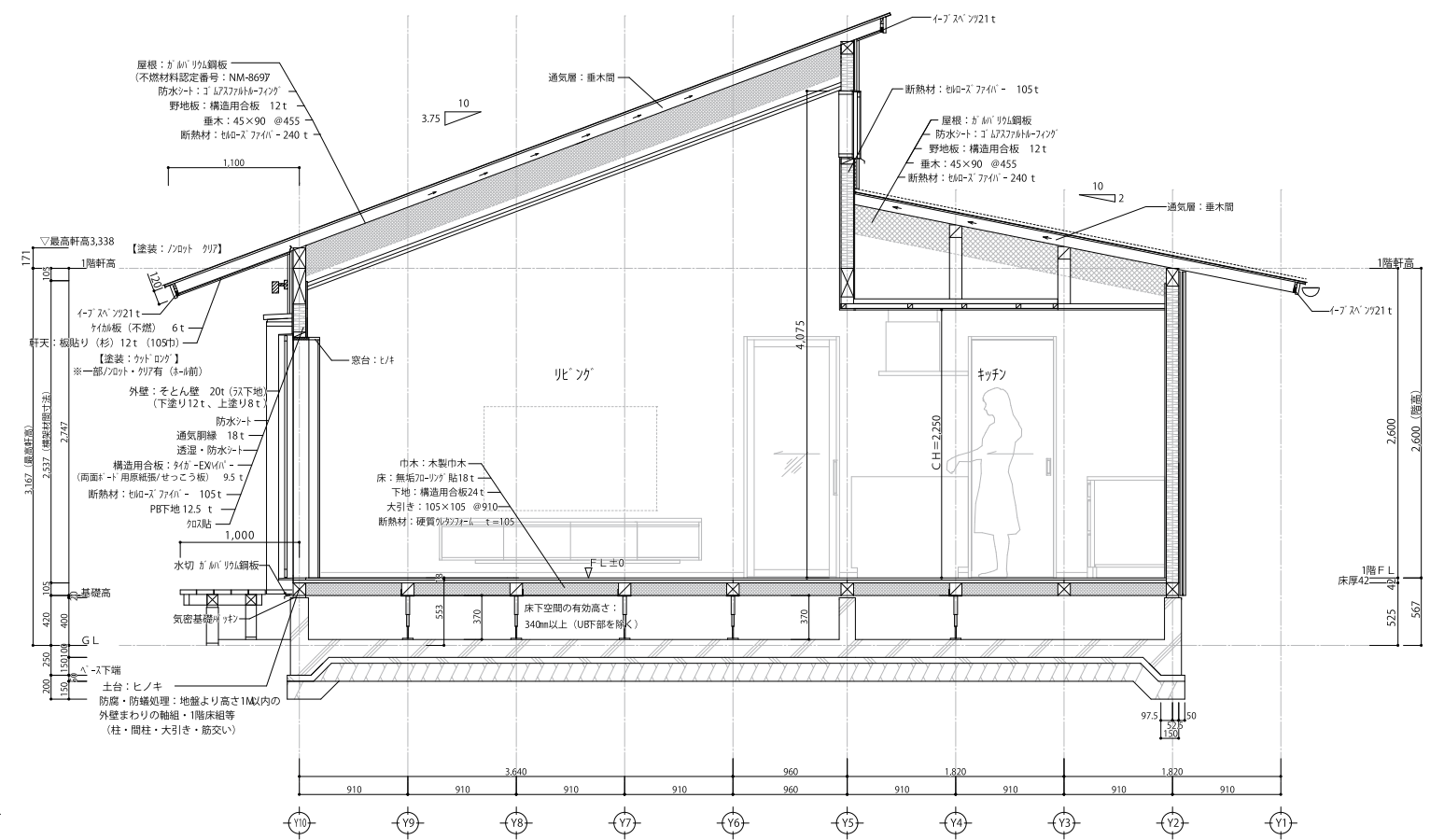


配置図

祖父から譲り受けた敷地のなかで、上下水道を無理なく引くことのできる場所が隣地近くになるため、その一角でどう景色を切り取り、日当たりを確保するかを基本計画しながら配置した。

平面図

廊下が閉鎖的にならないよう工夫するとともに、家族や来客が家に入ってからリビングに入り、縁側に座るまで、さまざまな感動を得ながら暮らせるよう計画した。日々の生活動線も考慮した。



省令準耐火構造

屋根	ガルバリウム鋼板（不燃材料認定番号：NM-8697）
外壁	そとん壁（防火構造：厚20mm ラスル外下地）
軒裏	ケイカル板5, 6, 8, 10, 12t（不燃材料：NM-3522）

※2階建ての場合1階の天井に強化石膏ボード12.5t+ケイカル

断面図

基本の階高は2600と低めに抑えながら、ダイニングキッチンや居室などリビング以外の部屋は天井高さを2250とし、開放感あるリビングは、陽だまりを日射シミュレーションしつつ、全体のプロポーションをみて計画を進めた。

